

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

第一號

第二卷

論說

●收益遞減法則ノ發見及ビ改造

●米價ノ騰落ト其調節ニ就テ(二、完)

研究

●近代都市ノ土地買收政策

●穀倉證券論

●本邦出生率増加ノ原因(二)

●本多利明ノ經濟說(二)

雜錄

●經濟雜話(二)

●米國ノ經濟的繁榮

●戰爭利得稅新法

●米歐爲替ト貿易

●諸學校學生入學年齡ニ關スル統計

●最近本邦鐵業ノ發達ニ就テ

●最近ノ金融問題(二、完)

●萊府大學ノ經濟演習

●米國ニ於ケル外來白人ノ母語

法學博士 河上 肇

法學博士 戸田 海市

法學博士 神戸 正雄

助教授 河田 嗣郎

講師 高田 保馬

法學士 本庄榮治郎

法學博士 田島 錦治

法學博士 神戸 正雄

法學博士 小川 郷太郎

助教授 河田 嗣郎

醫學博士 鈴木 文太郎

醫學博士 齋藤 大 吉

工學博士 谷村 一太郎

ドクトル 西 彦太郎

法學博士 河上 肇

米價ノ騰落ト其調節ニ就テ (二、完)

法學博士 戸田 海市

三

米價調節調査會ニ政府ノ提出シタ參考案ニ關シ世間多數ノ批評ヲ見ルニ、同案ハ

徒ラニ理論ノ精細ヲ重シテ實行ノ困難ヲ顧ミナイ、特ニ我財政ノ現狀ヲ以テシテハ明カニ實行不能ナルノ事實ヲ顧ミナイ弊ガアル。學校ノ演習題目トシテハ或ハ適當トスヘキモ、國家ノ政策ヲ定ムルニ付テ參考トスルノ實用的價值ハ甚タ乏シイ。由來政府ノ米價調節策ノ動機ニ付テハ世上ノ疑惑ヲ招クコトカ多カッタガ、今回政府カ上述ノ如キ參考案ヲ提出シタコトハ、世人ヲシテ益々調査會設置ノ目的カ果シテ眞面目ナルヤヲ疑ハシムル原因トナツタト云フカ如キ議論カ有力ナヤウデアル。併シ乍ラ同案ハ理論上ニモ頗フル不完全ナモノテアル。此事ハ既ニ上來ノ論述ニ由リ部分的ニ明ニセラレタコトト信スルガ、更ニ是ヨリ四種ノ參考案ヲ概括シテ主ニ理論上ノ興味ヨリ批評ヲ試ミル

國民經濟カ發達シテ其諸機關ノ働キカ有力トナレハ、米價ハ自然ニ調節セラルルコトトナルノデアルガ、國家ノ調節策ニ於テ探ルヘキ方針ハ、私經濟上ノ諸機關ノ作用ヲ助ケテ其自然的調節力ヲ成ルヘク有効ナラシムル間接的方法ト、國家自身ノ力ニ由リ調節スルコトヲ主トスル直接的方法トノ二種ガアル。前者ヲ以テシテハ目前ノ必要ニ應スルヲ得サル場合ニ初メテ後者ヲ探ルコトヲ適當トスルノテアルガ、今日我經濟界ハ後者ヲ必要トスル程ニ幼稚ナリト云フヲ得サルノミナラ

ズ、此種ノ政策ヲ適當ニ行フノ至難デアルコトハ曾テ論シタ所テアル。然ルニ今回ノ參考案ハ直接干涉ノ方法ニ屬スルモノデアツテ、四案ノ中第一ノ常平倉案カ最も簡明ニ此方針ヲ代表シテ居ル

本案ノ如ク政府ヲシテ深く立入ツテ米價ヲ支配セシムル方針ヲ採ルコトトスレハ、之ヲ當局者ノ方寸ニ一任シテ置クコトヲ得ナイ。必ラスヤ干涉ノ標準ヲ公ケニ一定シテ置カチハナラス。然ルニ米ハ必要品デアツテ之ニ對スル需用ニ弾力性ノ乏シキニ反シ、其供給ハ殆ント孤立的ナル國內農業ノ收穫ニ由テ定マリ、而モ其收穫ニハ豐凶ノ差ガ可ナリ著シク起リ、加フルニ之ヲ保存スルニ付テモ多大ノ保存費ヲ必要トスル。故ニ我米價ヲ或點ニ一定シテ之ヲ不動ナラシムルコトハ全ク不能デアリ、或範圍内ニ騰落スルコトヲ認メサルヲ得ナイ。又收穫ノ豐凶ニ係ハラス小作米收納ノ略ホ一定セル少數ノ地主階級ヲ除キ、大多數ノ農民ガ貨幣收入ヲ得ルカ爲メ市場ニ販賣シ得ヘキ米ノ量ハ收穫豐凶ノ割合以上ニ増減スル。然ルニ尙ホ政府ノ力ニ由テ米價カ一定不動トナツタトスレハ、一般農民ハ非常ノ困難ニ陥ラサルヲ得サルコトハ既ニ論シタ。故ニ米價調節ノ標準トシテハ或幅ヲ有スル最高最低ヲ一定シ、米價ヲシテ成ルヘク此範圍内ニ止マラシムルノ方法ヲ採ルコト

參考案ノ如クスルヲ適當トスル

米價調節ノ標準トスヘキ最高最低ノ幅ハ相當ニ狹ク定ムルコトヲ必要トスル。參考案ハ此兩限界ヲ十八圓ト十四圓トニ置キ、其間ノ四圓ノ騰落ハ之ヲ市場取引ノ自然ニ放任スルコトトシタ。假リニ此兩極點ノ中位十六圓ヲ平常價格トスルナラハ、之ニ對シテ二圓卽チ一割二步五厘以上ノ騰貴又ハ下落ヲ生スルコトヲ防カントスルコトトナルノテアルガ、此事タルヤ、本來騰落ノ激シキ我米價ノ現狀ヨリ見レハ相當ニ強キ干涉ヲ意味スル。併シ政府カ直接ニ米價ヲ左右スルノ方針ヲ採ル以上ハ、最高最低ノ值幅ヲ餘程狹クスルノ必要カアル。何トナレハ米價カ八九圓モ自由ニ騰落シ得ルカ如ク大ナル值幅ヲ認ムルナラハ、敢テ弊害ノ大ナル直接方法ヲ採ルノ必要ナク、間接方法ニ由ルモ充分ニ目的ヲ達シ得ルノミナラス、直接方法ニ由リ政府自身カ調節ノ主體トナルトキハ、自然的調節ヲ爲ス所ノ諸般ノ經濟機關ノ作用ヲ自カラ緩慢ナラシメ、卽チ其能力ヲ自然ニ衰退セシムルコトヲ免レナイ、從ツテ政府カ餘程立入ツテ干涉ヲ行ハサルニ於テハ、米價ハ一層多ク不當ノ動搖ヲ爲スコトトナルカラテアル。參考案ノ調節標準トシテ採用セル十四圓及十八圓ト云フ具體的價位カ果シテ適當ナリヤニ付キ議論ノ餘地ノ存スルコトハ勿論デ

アルガ、更ニ注意スヘキハ此標準構成ノ理論ニ付テ大ナル缺點ノ存スルコトテアル。當局者ノ説明ニ由レハ十四圓ナル價位ハ我國ノ米ノ生産費ニ一致スルモノテアツテ、政府ハ米價ヲ其生産費以下ニ下落セシメサルノ必要ヲ認め、之ヲ以テ調節ノ最低位トシタト云フノテアル。元來本案ノ如キ調節制度ニ由レハ生産者保護ノ爲メニ米價ノ最低位以下ニ下ルコトヲ防クノハ割合ニ容易ナルニ反シ、消費者保護ノ爲メニ十八圓以上ニ騰貴スルコトヲ防クノハ、絶對ニ不能トナル場合ヲ生スルト云フ避クヘカラサル不公平ヲ有スルモノテアルガ、其上ニ最低位ヲ生産費ニ由テ定ムルコトトスレハ此制度ノ不公平ヲ益甚シカラシムルコトトナル。生産者ト消費者トノ双方ニ公平ナラントスレハ、生産費價格ヲ中位トシテ之レヨリ一割低キ點ヲ最低位トスルナラハ、之レヨリ一割高キ點ヲ最高位トスルト云フカ如クニ、生産費價格ニ對シテ成ルヘク同率ノ騰落範圍ヲ認めテハナラス。尙ホ米價モ一般物價平準ト共ニ高低スルコトカ當然テアル。物價平準ノ騰貴セルニ係ハラヌ、米價カ低位ヲ保ツトキハ生産者ヲ苦シメ、反對ノ場合ニハ消費者ヲ苦シメル、特ニ我國ニ於テハ從來此物價平準カ大ナル動搖ヲ示シタノデアルガ、今後モ之ヲ示スノ危険カ頗フル多イ。果シテ然ラハ直接方法ニ由リ米價ヲ調節スルコトトスレハ、成

ルヘク之ヲ物價平準ニ應シテ調節スルコトヲ必要トスル。然ルニ物價平準ヲ追フテ絶ヘス標準價位ヲ上下シ、之ニ準シテ實際ノ調節行爲ヲ行フコトハ到底不能テアル。此點モ亦本案ノ如キ調節策ニ附着スル缺點ノ一ツテアル。」

本案ノ實行ハ多大ノ經費ヲ要スル。從ツテ財政ノ餘裕乏シキ我國ニ取ツテ之ヲ實行スルコトハ非常ナ難事テアルガ、此外二年以上引續キテ豐作又ハ凶作ノ起ツタ場合ハ勿論、假令ヘ一回ニテモ異常ナ大豊凶ノ起ツタ場合ニハ、獨リ其調節ノ爲メニ甚大ノ經費ヲ要スルノミナラス、又到底米價ヲ最高位内ニ止マラシムルヲ得サルノミナラス、之ヲ最低位以上ニ保ツコトモ事實上困難トナル。當局者ハ此ノ如キ場合ヲ以テ稀有ノ例外ナリトシ、調節策ノ實行上之ヲ重要視スルノ必要ナシト考ヘテ居ルヤウテアルガ、一旦我産米統計表ヲ手ニスレハ此ノ如キ場合カ決シテ稀有ノ例外ニアラサルコトヲ發見スル。先ツ大豊作又ハ引續キ豐作ノ場合ニ於ケル調節策ノ結果ニ付テ見ルニ、此場合ニ米價ヲ最低位十四圓以下ニ下ラシメサラントスレハ、政府ハ巨額ノ資本ヲ投シテ自カラ米ヲ買入レ、又ハ人民ヲシテ保存セシメ子ハナラヌ。從ツテ次ノ收穫年度ニハ巨多ノ古米殘存ヲ生スルコトトナル。然ルニ世人一般ニ此ノ如ク巨多ノ古米ノ殘存セル事實ヲ知ルトキハ、假令ヘ其古米ヲ

常平倉其他ノ特定倉庫ニ保管シ、米價ノ相當ニ恢復スルマテハ之ヲ市場ニ供給シ
 ナイコトトシテモ、尙ホ市場ノ人氣ハ此古米ノ爲メニ壓迫セラレテ米價カ充分ニ
 恢復スルヲ得ナイコトトナル。故ニ若シ此新年度ノ收穫カ凶作トナラスシテ略ホ
 平作ニ近キ結果トナルトキハ、米價ハ依然トシテ豐年ニ於ケルカ如キ低位ヲ脱出
 シ得サルコトトナリ、之カ爲メ田舎ハ慢性病的ニ衰弱シ、延ヒテ一般商工業ノ不振
 ヲ來タスコトトナル。又若シ此新年度ノ收穫カ不作トナリ、之カ爲メ多數ノ農民カ
 米ヲ市場ニ賣却シ得ル量ニ著シキ減少ヲ來タシ、從ツテ彼等ハ米價カ大ニ騰貴シ
 テ貨幣收入ノ著シク減少スルコトヲ防クノ必要ヲ感スルニ係ハラス、古米殘存ノ
 多大ナルカ爲メニ米價カ割合ニ低位ヲ保ツコトトナレハ、彼等ハ大ナル生活難ニ
 陷ツテ調節策ノ不當ヲ批難シ、更ニ救済ヲ叫フニ至ルデアラウ。此ノ如キ場合ニハ
 勇斷一番適當ノ時機ニ於テ米價ヲ最低位十四圓以下ニ下落セシメ、國民ノ消費ヲ
 刺激シテ古米殘存量ヲ減少シ、以テ後日ノ米價恢復力ヲ大ナラシムルコトガ、獨リ
 農民ニ取ツテ利益ナルノミナス、一般經濟上ノ利益テアル。何人ノ手ニ由テ米ノ保
 存ヲ行フヲ問ハス、之カ爲メニ多大ノ費用ヲ要スルコトヲ忘レテハサラス。

引續キ不作ノ場合又ハ一回ニテモ大凶作ノ場合ニ於ケル調節策ノ危險ハ、上述ノ

如キ豐作續キノ場合ニ比シテ遙カニ重大デアル。此場合ニ當局者ハ成ルヘク米價ヲ十八圓以內ニ止メントシ、適當ノ時機ニ於テ之ヲ拾八圓以上ノ相當ノ點ニ騰貴セシムルノ勇斷ト商的智識トヲ缺クノミナラス、米價騰貴ノ際ニハ之ヲ引下クヘシト云フ輿論カ沸騰シ、當局者ハ已ムヲ得スシテ之ニ盲從スル危險カ多イ。然ルニ收穫不足ノ割合ニ米價ヲ此ノ如ク低位ニ止メルトキハ、第一ニ消費量カ收穫ニ對シテ不權衡ニ大トナリ、第二ニ世人ハ收穫ニ比較シテ米價ノ低キコトヲ見テハ、爭フテ不必要ニ多量ノ飯米ヲ買込ミ、特ニ資力ノ大ナル消費者ヤ商人投機者ハ非常ニ多ク米ヲ藏匿スルコトトナリ、之ガ爲メ米ハ早ク市場ヨリ隠レテ次ノ收穫マテ一般下層民ノ生活ヲ支フルニ不足ヲ生シ、眞ニ飢饉的狀態ヲ演出スルノ危險カアル。此ノ如キ場合ニハ途中ニ於テ急ニ米價ヲ奔騰セシメテ見テモ最早ヤ間ニ合ハナイ。參考案ニハ米價カ十八圓以上トナルトキハ、米ノ所有者ニ對シテ徵發ヲ行フノ權限ヲ政府ニ與ヘテアルガ、人心競々トシテ米ノ藏匿ニ熱中スル際ニ政府カ此徵發權ヲ斷行スルコトハ殆ント不能デアル。特ニ個々ノ消費者カ不必要ニ多ク米ヲ買入レルコトヲ防グノ方法ハナイ。此ノ如キ狀態ヲ寬和セントスレバ、目下歐洲交戰國ノ中糧食ノ外部供給ヲ絶タレタル獨逸ノ行ヒツツアルカ如キ貯藏制限及

消費制限ノ非常手段ヲ日本米ニ對シテ採ルノ外ハアルマイ、固ヨリ此ノ如キ場合ニハ大ニ外國米ヲ輸入シテ之ヲ廉賣スルノ方法ハアルガ、日本人ノ日本米ニ對スル執着力ノ強烈ナルコトハ、曾テ米價カ二十四五圓ニ暴騰シタ際ニ、其半價ニ過キナイ外國米ノ需用ハ意外ニ少ナク、從ツテ内地米價調節力ノ甚タ乏シカツタコトヲ見テモ明カテアル。日本米ノ缺乏ヲ訴フル者ニ對シテ所謂南京米ヲ供給スルコトハ、之ニ對シテ麥ヲ供給スルヨリモ、層不適當ナ事柄テアル。曾テ論シタ如ク内地米價ノ暴騰ヲ制スル應急策トシテハ、品質ノ極メテ日本米ニ近カキ楊子江沿岸ノ支那米ヲ輸入スルノ外ハナイ、從ツテ支那ヲシテ無條件又ハ條件付キニ其防穀令ヲ解除セシムルコトヲ必要トスル。支那ノ防穀令解除ヲ日支双方ニ利益ヲ生スルカ、如ク實行スルコトハ決シテ難事テナイ(前出國民經濟雜誌所載ノ拙論參照)

參考各案ヲ通シ米價調節ノ補助手段トシテ外國米專賣ノ制度ヲ設クルコトトシテアルガ、是ハ不必要ナルニ止マラス甚タ有害テアル。若シ此專賣制度ニシテ米價調節上必要ナリトスレハ、夫ハ内地米ヲ下落セシムルコトヲ防クカ爲メニ外國米ノ輸入ヲ制限スルノ一手段タラシムルカ爲メテアル。之ニ反シ騰貴セル内地米價ヲ引下クルノ必要アル場合ニハ、大ニ外國米輸入ノ増加ヲ圖ラ子ハナラヌノテア

ルガ、政府ノ當局者ハ適當ノ時機ニ於テ商人ノ如ク敏活ニ外國米ノ買取輸入ヲ爲スノ手腕ニ乏シク、又政府ノ財政モ常ニ必要ノ輸入ヲ自由ニ行ヒ得ルカ如キ餘裕ヲ存スルコトハ望マレナイ。故ニ内地米不足ノ爲メニ騰貴セル場合ニハ、成ルヘク商人ヲシテ自由ニ輸入ヲ爲サシムルノミナラス更ニ之カ獎勵手段ヲ探ルコトモ必要テアリ、決シテ其輸入權ヲ政府ノ手ニ獨占スヘキナイ。

次ニ内地米ノ下落ヲ防クカ爲メ何等カノ方法ニ由テ外國米ノ輸入ヲ制限スルコトヲ適當トスルヤト云フニ、元來今日輸入セラルル外國米即チ南京米ト稱セラルルモノハ汎ク世界諸國ニ需用セラルルモノテアツテ、我國ノ需用ハ小部分ニ止マリ、且ツ其需用高ハ内地米作ノ豐凶ニ由テ著シク變動スル故、南京米輸出價格モ汎ク世界市場ノ景況ニ由テ決定セラレ、從ツテ我米價ノ下落セル場合ニ南京米ハ必シモ下落シナイ。從來ノ經驗ニ徴スレハ日本米ト南京米トノ相場ノ差隔ハ前者ノ騰貴セル場合ニハ大トナリ、其ノ下落セル場合ニハ小トナルコトヲ常トスル。即チ南京米ノ日本米ニ對スル競爭力ハ内地ノ米價騰貴ノ際ニ増加シテ下落ノ際ニハ減少スル。然ルニ同シ日本米ノ中テモ下等米ノ上等米ニ對スル競爭力ハ南京米ノ場合ト正反對ノ増減ヲ示スヲ通例トスル。是ニ由テ見ルモ經濟的意義ヨリ云ヘハ

南京米ヲ日本米ノ下等品ト同視スルヲ得ナイ、日本米トハ全ク別種ノ劣等穀物テ
 アツテ、恰モ米ニ對スル麥ノ如キ地位ヲ有スルモノテアル。而シテ南京米ノ日本米
 ニ對スル相場ノ差隔カ上述ノ如クナル理由如何ト云フニ、是レ南京米ノ總產額カ
 日本米ノ如ク年ニ由テ多大ノ増減ヲ示サナイト同時ニ、其產地以外ノ世界諸國民
 ノ之ニ對スル需用ハ、之ヲ以テ基本的食物トスル爲メテハナク、比較的重要ナラサ
 ル補充的食物トスルカ爲メニ起ルカ故、其國際市場ノ價格モ日本米ノ如ク甚大ノ
 騰落ヲ示サス、割合ニ安定的ノ狀態ヲ有スルカラテアル。此ノ如ク南京米ハ特ニ日
 本人ヨリ見レハ麥ニモ劣ルカ如キ下等ナ食物テアツテ、日本米ニ對シ品質上大ナ
 ル差隔ヲ有スルニ係ハラス、日本米下落ノ際ニ於テハ價格上ノ差隔カ却ツテ小ト
 ナルトキハ、我國民ノ南京米ニ對スル需用ハ特別ニ減少セサルヲ得ナイ。即チ南京
 米ハ本來内地米價ヲ壓迫スルノ力ニ乏シイモノテアルガ、内地米價下落ノ際ニハ
 其壓迫力カ特別ニ大ナル減少ヲ示スコトナルノテアル。

果シテ然ラハ内地米價下落ヲ防クカ爲メニ外國米ノ輸入ヲ制限スルノ必要ハ殆
 ントナイト云ヘル。尤モ從來内地米ノ大ニ下落セル年ニ於テモ尙ホ幾分カ外國米
 ノ輸入セラレタコトハ事實テアルガ、我國民ノ嗜好ニ適スル日本米ノ甚タ安キニ

係ハラス、尙ホ不味ナ割合ニハ高價ナル外國米ヲ需用ヒサルヲ得サル者ハ主ニ生活ノ困難ナル漁民其他ノ下層階級テアリ、特ニ貧民ノ多ク需用スル所ノ内地下等米ニ混合シテ販賣セラレルノデアル。外國米輸入カ内地米價ヲ壓迫スルコトハ此ノ如ク輕微ナモノデアリ、又外國米ヲ需用スル階級カ此ノ如ク主ニ最下層ノ貧民テアルトスレハ、何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス、外國米ノ輸入ヲ制限スルコトハ、社會政策上ヨリ見テ不當ト云ハネハナラヌ。即チ現行ノ外國米輸入税ノ如キ制限方法スラ不當テアルガ、輸入米專賣制度ニ由リ之ヲ制限スルニ至テハ更ニ甚シク不當テアル。本來米價下落ヲ防止スルノ一點ヨリ見レハ、多大ノ豐作ノ爲メ米價ノ暴落セル年ニハ、日本人ノ食物トシテ外國米ヨリモ一層嗜好ニ適シ、且ノ生産高モ外國米輸入ニ比スレハ十倍ニモ近キ麥ノ作付段別ヲ制限スルコトカ遙カニ有效テアル。農民全體コリ見ルモ麥作ヲ減少スルノ損失ハ米價ノ騰貴ニ由リ之ヲ償フテ餘リカアルノミナラス、此方法ハ農民ノ困難ヲ農業自身ノ力ニ由テ救済スルト云フ自助自衛ノ形式ヲ具ヘタモノテアツテ、道德上ヨリ云フモ穩當ナルカ如ク見ヘル。只タ麥作ヲ爲ス者ハ農民中ノ下層者特ニ小作人階級ヲ主トシ、從ツテ麥作ヲ制限スルコトハ社會政策上不當テアルカラ、此方法モ實行スルヲ得ナイノテアル。

果シテ然ラハ米價調節上麥作制限ヨリモ遙カニ效力ノ小ナル外國米輸入制限ヲ行フコトモ社會政策上ヨリ反對セサルヲ得ナイ。

以上ハ主トシテ經濟上ヨリ參考案ヲ批評シタノテアルガ、之ヲ政治上ヨリ觀察スレハ同案ハ一層多ク批難スヘキ理由カアル。曾テ日本米專賣制度設定論ニ對シテ下シタ政治的批評ハ其儘之ヲ本案ニ對シテモ適用スルコトカ出來ル。即チ我國ノ政黨ハ尙ホ甚タ幼稚テアリ、特ニ道德上批難スヘキ點カ多イノテアルガ、國權ヲ以テ直接ニ米價ニ干涉スルカ如キ制度ヲ設クルトキハ、米價ノ高キヲ欲スル農民黨ト其低キヲ欲スル商工黨トノ政權爭奪ハ非常ニ激烈トナラサルヲ得ナイ。階級的利害ヲ以テ政治運動ノ中心目的トスルコトハ何レノ國ニ於テモ避ケ難イ事柄テハアルガ、政黨ノ一般ニ腐敗セル我國ニ於テ米價ヲ左右スルト云フカ如キ重大且ツ直接的ナ階級的利害事項ヲ以テ政治問題トスルコトハ非常ノ弊害カアリ、特ニ一旦此ノ如キ階級的利害問題ヲ政治ノ題目トスルコトヲ認ムルトキハ、種々ノ過激不健全ナ思想ノ勃興ニ對シテ公ケニ根據ヲ與フルコトトナル。由來國家萬能主義ハ我國ノ根本的病弊テアルカ、本案ノ如キ調節制度ヲ立ツルコトハ益々其弊ヲ甚シカラシメサルヲ得ナイ。又我國ノ官界ノ風紀ハ幸ニシテ未タ甚シク廢頽シテ

居ナイヤウテアルガ、官吏ヲシテ直接ニ米ノ賣買ト米價ノ高低ニ干涉セシムルコトハ官紀ノ腐敗ヲ生スル危險カ甚タ多イ。故ニ假令、本案ハ經濟上缺點ノ少ナイモノテアルトシテモ尙ホ上述ノ如キ政治上ノ理由ヨリ之ニ反對セサルヲ得ナイ、予輩モ我米價動搖ノ弊害ノ甚タ重大ナルコトヲ認メ、之ヲ調節ノ必要ヲ感スルノ切ナルニ至テハ何人ニモ讓ル者テナイガ、併シ之ヲ調節スルニハ成ルヘク經濟界ノ自然的調節力ヲ有效ナラシムル方針ヲ探ルコトヲ希望セサルヲ得ナイ。固ヨリ此方針ニ由テ調節ノ目的ヲ達スヘク努力スルコトトシテモ、例ヘハ米價暴騰ノ場合ニ國有鐵道ノ運賃ヲ減スルトカ、其暴落ノ際ニ財政ノ許ス限り農業金融ヲ助クルト云フカ如キ應急策ヲ必要トスル場合ノ起リ得ルコトハ拒マレナイガ、此種ノ應急策モ概シテ直接的調節策ノ如ク政治上憂フヘキ結果ヲ生スルノ危險ハナイノデアアル